



## <父母会4年生リレーコラム>OL#72春原優作の母

OL#72春原優作の母です。

「足が速くないとこ、ママに似ちゃったねー」スポーツ大好きだけど、高校では無理かな、吹奏楽でもやればと言ってた高1の4月、しかし、そこで優作はアメフトに出会っちゃったんです。何に惹かれたのかすぐにのめり込んだものの、夏には大腿骨骨折で1か月半も入院したのに、病室で見てるのはアサメント表ばかり。でもアメフトをしたくて松葉づえの通学とリハビリに耐えて半年で復帰、後は朝から晩までアメフト漬けの日々で、成績表をみた父母は、明学に入ったのはアメフトに出会うためだったと早々にあきらめモード。でも、最初に監督が「アメフトは誰にでも合うポジションあるところがいい」と言ってくれたとおり、優作はアメフトに出会ってOLという輝ける場所を見つけたのでした。一人っ子の甘えん坊は、アメフトを通じて自信をつけ、心もタフになりました。神田の小学校時代から大好きな明治大学でアメフト部に入る夢を1年遅れでかなえた優作の次の目標は、関学に行ったチームメイト(DL)との対戦でした。それも3年のオープン戦で勝利という最高の形で実現しました。夢の対戦で関学に勝利した経験は優作の一生の宝もの、試合後に号泣していた姿は忘れられません。観戦していた方が撮ってインスタにあげてくれた、たった一度の直接対決の写真は我が家の家宝ともいえる奇跡の一枚です。そして、集大成の4年は、コロナ禍で想定外のシーズンになってしまったけれど、甲子園もなくなる状況で、公式戦ができたことには感謝しかありません。キャンパスライフもない中、自分は毎日チームメイトと喧々諤々やれるから、体育会入ってアメフトやって本当に良かったと本人も言っています。大学時代の仲間との日々は一生ものってわかるのはもう少しかな。父母も、優作のおかげで大学4年間一緒に熱くなれました。早稲田戦の勝利はがんばってきた君たちが自分でつかんだもの。いよいよ最後の一戦、みんな、とにかくプレーを楽しんで、素敵な笑顔を見せてほしいです。母は今から泣きそうだけど、7年間追ってきた#72最後までしっかり見届けよう。燃えつくせ！



関学DL#78藤本潤(明治学院)



役職	Po.	番号	学年	名前	出身高校	休日の過ごし方
OLリーダー	OL	72	4年	春原 優作	明治学院	ゲームしたりアニメ見たりする